

# 2019遺愛のクリスマス

2019年の遺愛クリスマス関係の行事は、11月22日(金)から始まりました。22日は後期中間テスト最終日でしたが、テスト終了後の午後に、各ホームルームの係が集まって、教室の扉に飾るリースを作ったり、講堂、遺愛アリーナ、新館ホール、中学玄関のホールに置かれているクリスマスツリーの飾りつけ、クリスマス礼拝のキャンドルサービスで使うローソクの準備をしました。



11月27日(水)には、午後からPTA文化部のクリスマス会がホワイトハウスで持たれ、夕方には正門のところにあるクリスマスツリーの点灯式が行われました。

12月に入ると、4日(水)放課後にキャロリングが行われました。総数298名の生徒(全校生徒の36%)が参加し、病院、社会福祉施設、幼稚園、教会、函館駅などを分担して回り、クリスマスソングを歌いながら、イエス・キリストの誕生を市民と共にお祝いしました。



10日~18日までの間のうち6日間を短縮授業にし、朝の礼拝後約30分間、生徒・教職員全員で、クリスマス礼拝の最後に歌うハレルヤコーラスの練習をしています。また、音楽科の先生方が各学年ごと一部の授業を借りて、クリスマス礼拝で歌う「学年の歌」の練習をしています。



12月14日(土)15:30より、講堂で市民と共に祝う「第35回クリスマスのゆうべ」がありました。第1部では聖歌隊の入場で始まり、宗教主任の森野真理先生の司式で礼拝が守られた後、第2部として「音楽のおくりもの」と題して、吹奏楽局がオーボエ独奏、木管四重奏、

音楽部・聖歌隊による合唱、ハンドベルクワイア演奏、音楽科主任の水田真木子先生のオルガン演奏、白須朋子先生のソプラノ独唱がありました。最後に飛び入りゲストとしてトナカイさんとサンタさんが登場し、良い子の皆さんにプレゼントをくれました。



そして12月20日(金)にクリスマス礼拝を迎えます。時間をとって練習するだけに、クリスマス礼拝は遺愛を卒業した後も、遺愛の良き思い出として同窓生の記憶にしっかりと刻まれています。



音楽系の部活もクリスマスには道南で大活躍しています。吹奏楽局は15日(日)江差町文化会館で地元の江差中学校・江差北中学校とジョイントでウインターコンサートを行い、クリスマスメドレーなどを演奏しました。また、21日(土)にも函館空港で演奏予定です。

中学ハンドベル部は、11月30日(土)は青柳町会館で、12月1日(日)には五稜郭タワーでJALベルスター(JALキャビンアテンダントさん)とのコラボ、夕方には五稜郭星の夢コンサートに参加しました。7日(土)函館協会病院、8日(日)には日吉の家(視力障がい者の方へ)、15日(日)には毎年恒例の熱帯植物園で演奏をしました。これからは21日(土)14:00から道立函館美術館で、22日(日)17:00からホテルラビスタのロビーでのコンサートです。



音楽部は12月18日(水)16:00函館渡島病院で、20日(金)14:00特別養護老人ホーム桔梗みのりの里で演奏します。

2019年12月17日(火)